

# 北九州市の 中核企業の 成長に向けて

令和7年5月26日  
北九州市産業経済局  
局長 柴田 泰平





## 成長支援の意義

# 地域経済を力強くけん引

- 中堅・中核企業は、大企業よりも売上高や設備投資、従業員数、給与総額の伸び率が大きく、地方に多く立地することから、地域経済のけん引役として大変重要な存在

## 若者や女性の雇用の受け皿に

## 本社機能移転がまちの賑わいへ

- 市内本社の中堅・中核企業の成長は、若者や女性の受け皿となる良質な雇用（間接部門、企画・研究部門）を生み出すほか、都心部への本社機能移転によりまちの賑わいにも貢献

## 支援対象とその現状・課題

# 対象は売上30～500億円

- 北九州市では、地域経済へのインパクトを考慮し、売上規模でターゲティング

売上高 概ね30～500億円 の市内企業 285社

**地域中核企業**

## 成長に向けた模索段階で苦慮

- 現状・課題把握のため、ヒアリング調査やアンケート調査を実施〔 93社、R6.5～8 〕

新規事業担当者  
間の情報交換の  
場がない

新規事業立案の  
やり方が分から  
ない

新規事業模索段  
階での取組に予  
算が付きにくい

専門人材（企画、  
プロジェクト管  
理等）がない

## 支援メニュー(令和7年度)

### 新規事業担当者間の交流促進

- 新規事業担当者のネットワークを構築
- 成長促進セミナーの開催 (M&A、IPO、専門人材活用等)



情報交換  
アイデア創出

### 成長戦略策定を伴走支援

- 成長を志す企業の成長戦略の策定等をコンサルが全力でサポート

採択件数  
**5社**

募集開始  
**6月上旬**

### 成長へのチャレンジへ助成

- 「成長促進トライアル補助金」を創設
- 成長に向けた新たなチャレンジに必要な費用を助成

補助率  
**1/3**

採択件数  
**10社**

募集開始  
**6月2日**

# トピック(米国関税措置に対する支援策)

支援1

## 北九州市中小企業海外展開支援助成金

6月2日運用開始

- 米国以外への海外展開に向けた市場調査等への助成拡充
  - ・ 米国関税枠の創設（米国から米国以外への輸出先の転換）
  - ・ 補助率 1 / 2 → 2 / 3

支援2

## D X 推進補助金

5月12日運用開始

- 米国関税の影響を受ける（可能性含む）企業の優先採択
  - ・ 審査における加点措置

支援3

## 中堅・中核企業向け成長促進補助金

6月2日募集開始

- 米国関税の影響を受ける（可能性含む）企業の優先採択
  - ・ 審査における加点措置
  - ・ 補助率 1 / 3 → 1 / 2

支援4

## 専門家派遣事業（中小企業支援センター特定支援事業）

5月12日運用開始

- 米国関税の影響を受ける企業に対して専門家派遣回数（無料）の増加
  - ・ 無料派遣 3 回 → 6 回